

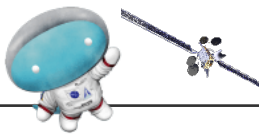
証券コード：9412

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス



2026年3月期 第2四半期 決算説明会

2025年11月6日開催



本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

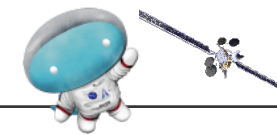
- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制等に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や
取扱い及びサイバーセキュリティに
関するリスク
- 大規模災害、新型感染症等による
事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下
のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 有料多チャンネル事業の事業性低下
に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク



連結純利益118億円と前年同期比21%増益達成

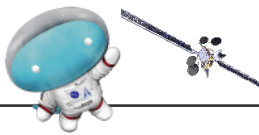
*以下、「親会社株主に帰属する中間純利益」を「連結純利益」と記載しております。

**宇宙事業は増収増益基調に
安全保障領域に注力、防衛省衛星コンステレーションPFI事業に応札**

メディア事業は継続的な効率化が奏功し、大幅増益



2026年 3 月期 第 2 四半期連結業績概要



- 営業利益・連結純利益ともに前年同期比増益
- 連結純利益は通期予想210億円に対し、進捗率56%の118億円

(億円)	2024年度 2Q累計	2025年度 2Q累計	増減率	2025年度 通期業績予想	通期予想 進捗率
営業収益	610	609	△0.2%	1,276	47.7%
営業利益	139	172	+24.0%	308	55.9%
親会社株主に帰属する 中間純利益	97	118	+21.1%	210	56.0%
EBITDA*	247	253	+2.4%	480	52.8%

*EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

- 地上設備を活用したソリューションサービス等の増加により増収増益
- セグメント利益84億円と前年同期比12%増益を達成

(億円)	2024年度 2Q累計	2025年度 2Q累計	増減	増減要因
営業収益*	314	322	+8	(営業収益) 国内衛星通信分野+13 (JAXA向けソリューションサービス開始等)
営業費用	208	205	△3	グローバル・モバイル分野△2 (取引高+1、為替影響△4)
営業利益*	106	117	+11	(営業費用) 国内増収に伴う原価増+6 減価償却費△12
セグメント利益**	75	84	+9	Orbital Lasers費用+2

*セグメント間の内部取引を含む

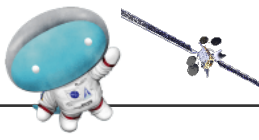
**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

- 放送事業の効率化が進み大幅増益、光アライアンス事業も堅調に推移
- コネクテッドTV事業化検証を終了、8億円減損計上（セグメント利益影響額5億円）

(億円)	2024年度 2Q累計	2025年度 2Q累計	増減	増減要因
営業収益*	330	321	△9	(営業収益) 視聴料・業務手数料・基本料収入△12 FTTH関連収入 ^{*1} + 4 ^{*1} テレビ接続工事収入を含む
営業費用	293	262	△31	(営業費用) 一過性要因△15 「ブンデスリーガ」放送・配信終了△5 カスタマーセンター子会社の持分法適用会社化△5 前期施策(チューナー交換)の反動△5
営業利益*	37	59	+22	減価償却費△9 広告宣伝・販促関連費（デジタルシフト等）△9
セグメント利益**	26	36	+11	(その他) コネクテッドTV事業化検証終了に伴う減損△8 (セグメント利益影響額△5)

*セグメント間の内部取引を含む

**セグメント利益は「純利益」ベースの数値



- GEO通信衛星3機、LEOコンステレーション構築への投資実行等、計画通りに進捗
- 社債償還、長期借入金の返済等により有利子負債は減少

連結キャッシュ・フロー

(億円)	2024年度 2Q累計	2025年度 2Q累計	2025年度 見込
営業活動	249	281	470
投資活動	△165	△401	△680
フリー・ キャッシュ・フロー*	84	△119	△210
財務活動	△80	△204	△330

*営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

連結財政状態

(億円)	2024年度 末	2025年度 2Q	2025年度 見込
資産	4,034	3,998	3,920
内、現金及び現金同等物	1,145	811	610
負債	1,192	1,071	960
内、有利子負債	552	392	320
株主資本	2,732	2,805	2,840



宇宙事業

■ 防衛省「衛星コンステレーションの構築運用」PFI事業

- ・ 2次審査に応札

■ 防衛省と衛星画像提供に関わる新たな契約を締結

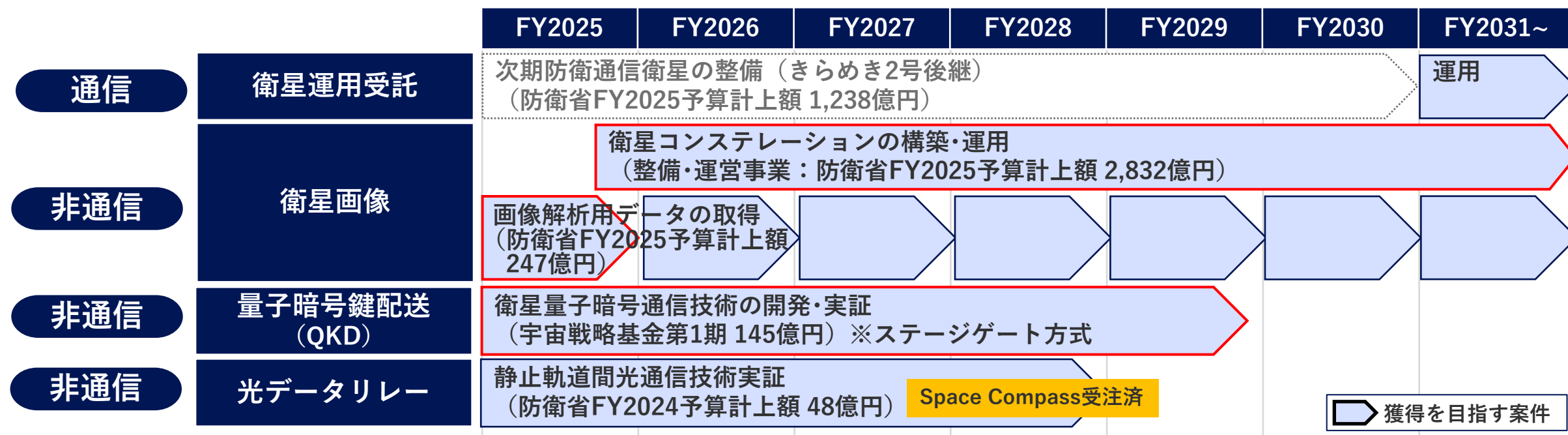
- ・ 契約期間：2025年10月1日～2026年9月30日
- ・ 契約金額：88.53億円（税抜）

■ JAXA基金「衛星量子暗号通信技術の開発・実証」事業

- ・ NICT*とともに参画*国立研究開発法人情報通信研究機構
- ・ 衛星量子暗号鍵配送（QKD）サービス早期事業化に向け加速

事業の進化

新規領域の開拓

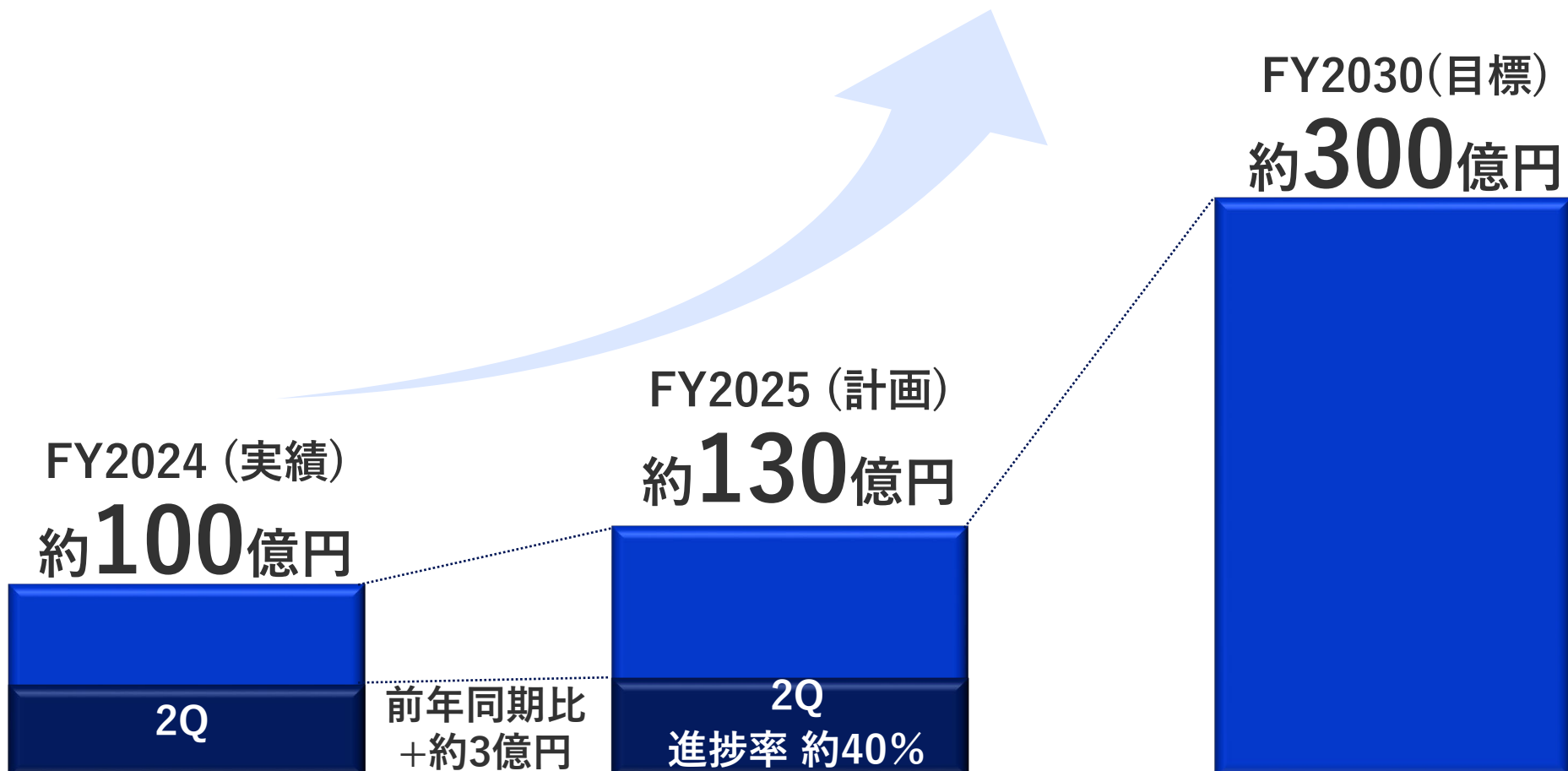


- 2Q売上は堅調、通期目標達成に向けて着実に進捗
- FY2030に向け事業拡大を加速、持続的な収益成長を目指す

収益基盤強化

事業の進化

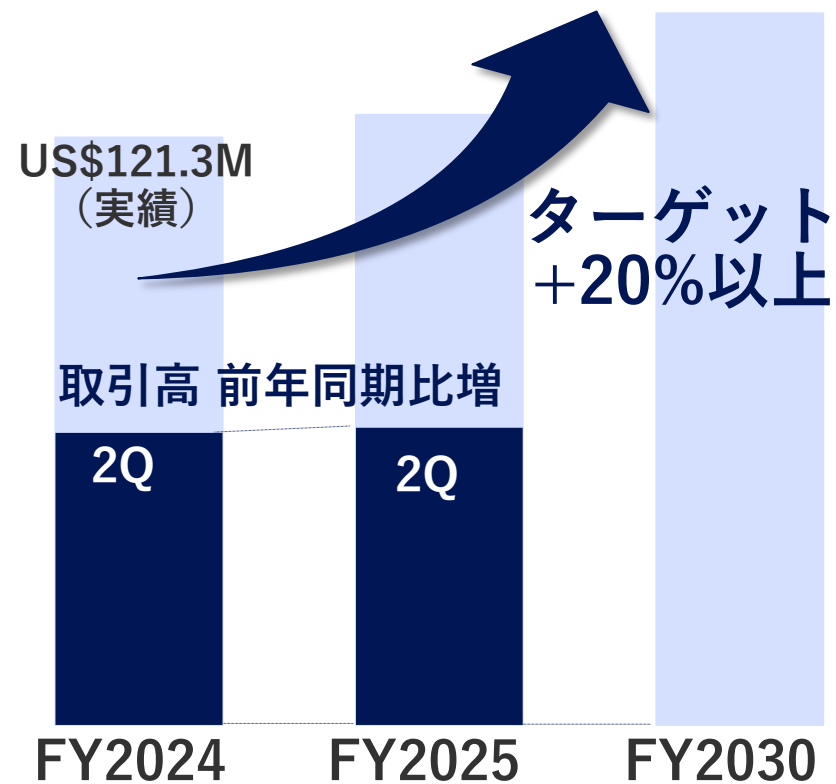
新規領域の開拓



■ グローバル・モバイル分野の取引高増

■ 航空機Wi-Fi向け通信サービス拡販が貢献、大型契約によりさらなる成長を見込む

グローバル・モバイル分野取引高



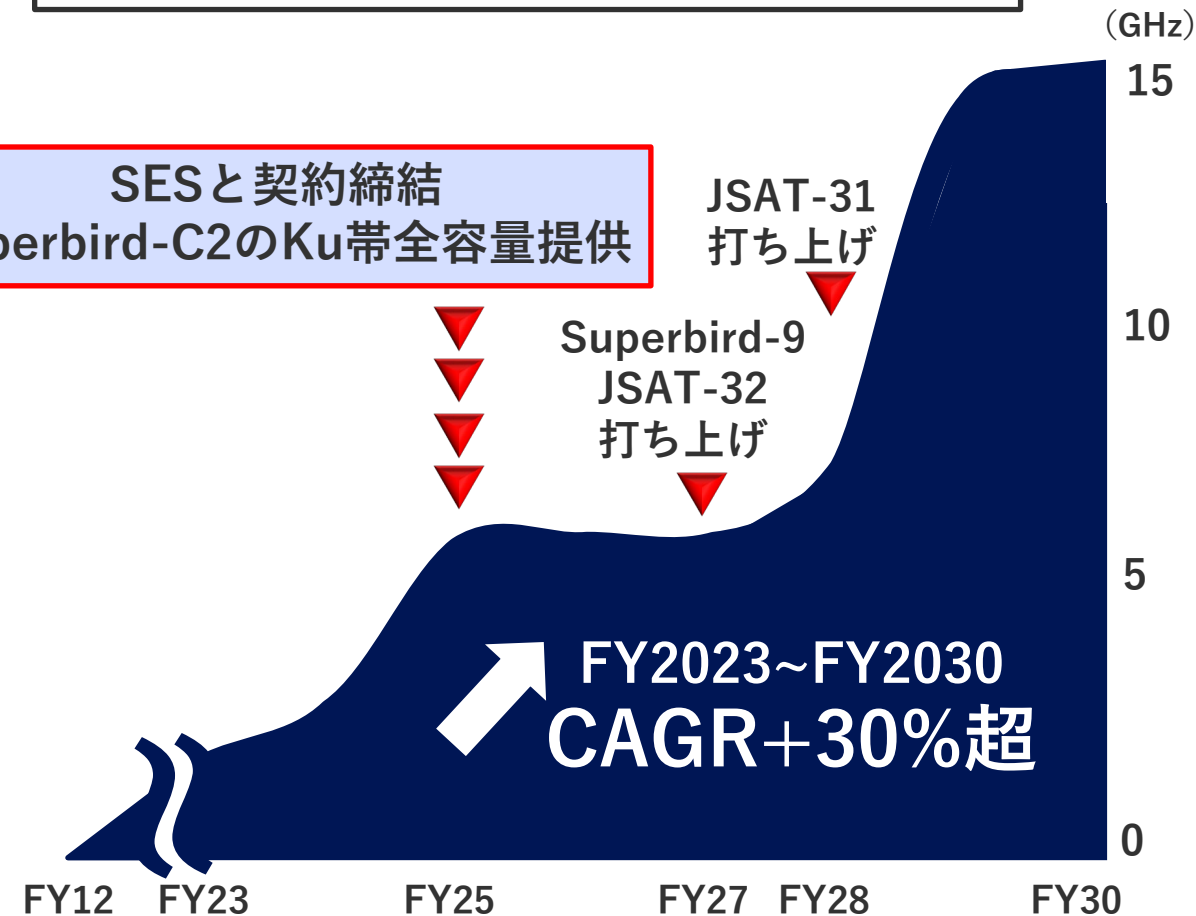
航空機Wi-Fi向け提供帯域推移ターゲット

SESと契約締結
Superbird-C2のKu帯全容量提供

JSAT-31
打ち上げ

Superbird-9
JSAT-32
打ち上げ

FY2023~FY2030
CAGR+30%超



■ Orbital Lasers JAXA主体の高度計ライダー衛星の開発・実証

新規領域の開拓

- ・ フロントローディングパートナーに選定、概念設計を受注済み
業務範囲の拡大に伴い、受注額は当初の約5億円より増加
- ・ 今後、開発ミッション（文部科学省R8概算要求：50億円）の受託を目指す

■ 2025年9月～JAXA向け近地球追跡ネットワーク*サービス提供開始

事業の進化

- ・ 低軌道・静止軌道・静止軌道以遠の衛星を追跡・監視・制御
- ・ 同設備を活用し、民間向け「JSAT Space Line（商標出願中）」サービスを展開



沖縄

北海道

茨城

スカパーJSAT地上局

*近地球追跡ネットワーク：宇宙空間にある人工衛星と地球間で通信を行うため国内外に設置された地上アンテナ群と、このアンテナ群及びその付帯設備を使用するための計画を管理するシステムの総称



世界最大の水田カーボンクレジットデベロッパー

Green Carbon <業務提携・出資>

環境分野へスペースインテリジェンス事業の市場を拡大

JAXAをアンカーLPとするスタートアップ投資ファンド

Frontier Innovations 1号ファンド <出資>

国内宇宙スタートアップ・関連ファンドとの連携を強化

収益基盤強化

事業の進化

新規領域の開拓



QPS研究所
業務提携・出資

Space Capital
3号ファンド出資

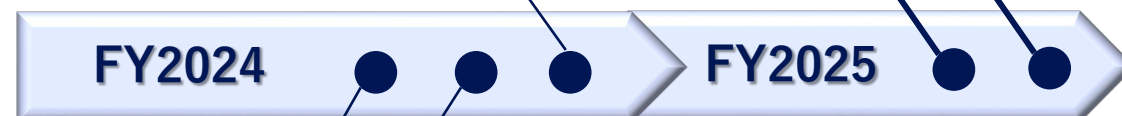
QPS研究所
管制協業開始

天地人
業務提携・出資

Orbital Lasers
出資・設立



Space Compass
出資・設立



WHERE
業務提携・出資

Seraphim Space
2号ファンド出資

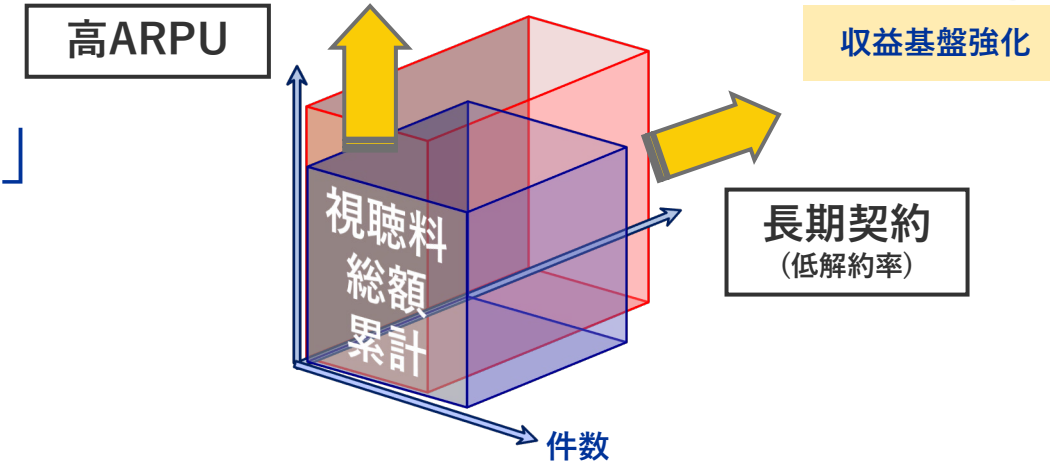
アークエッジ・スペース
業務提携・出資

協議中
10社以上



メディア事業

高ARPUで解約率が低い「スカパー!基本プラン」を中心に主力商品の販促強化に注力



スカパー!基本プラン販促施策

追加料金なしで視聴可能な
大型音楽イベントを放送・配信

2025 Show! 音楽中心
in JAPAN

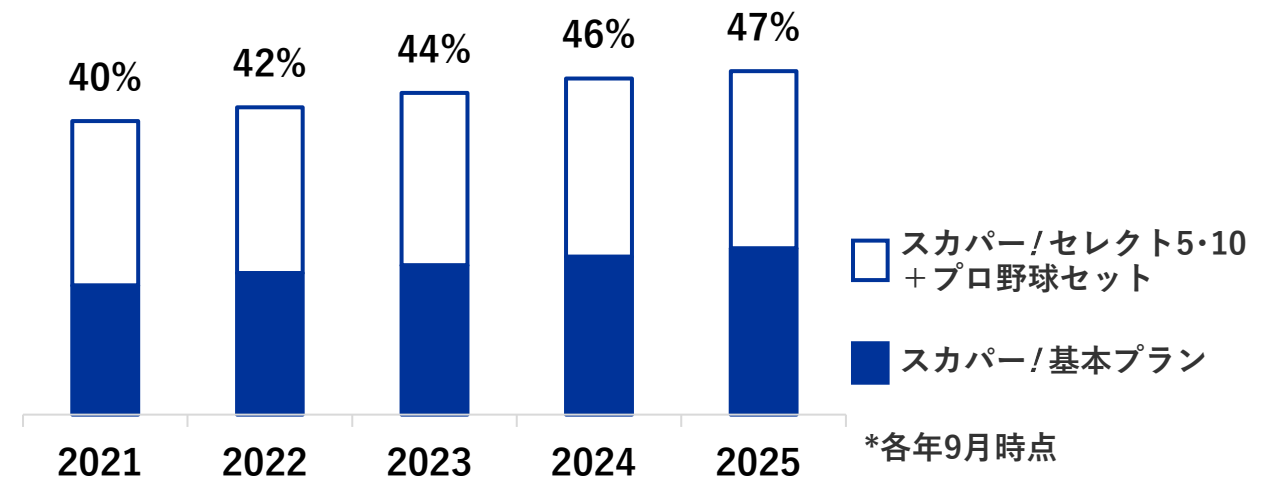


SMTOWN LIVE 2025
in TOKYO

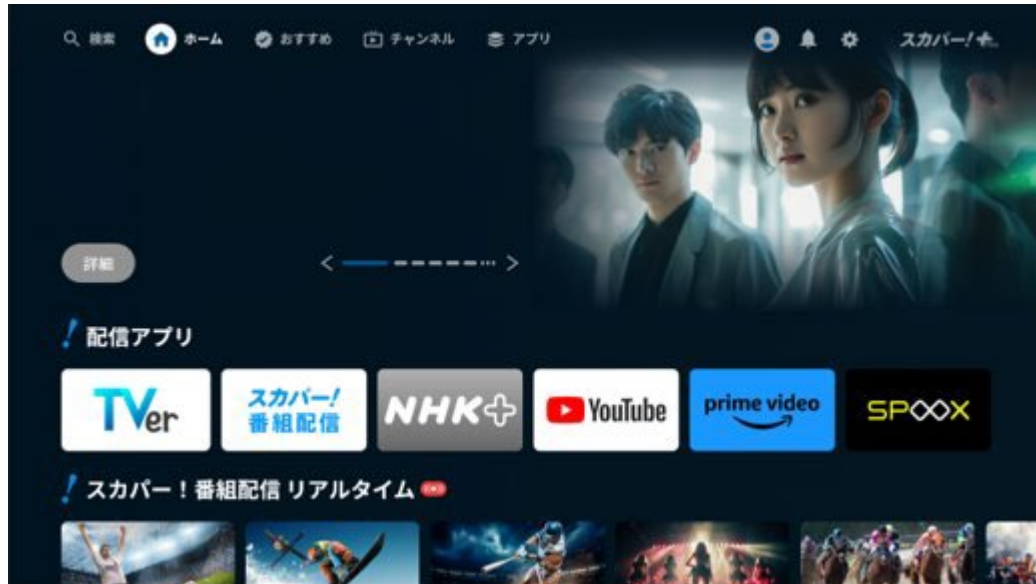


*KNTVとの連携により実施
©2025 SM ENTERTAINMENT CO., Ltd.
ALL RIGHTS RESERVED.

主力商品の契約率は堅調に推移



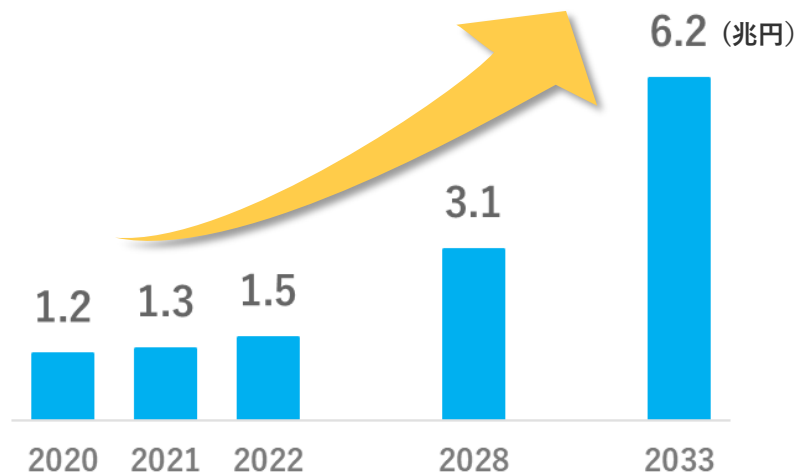
- 独自デバイスを基軸としたコネクテッドTVプラットフォーム事業化の検証を実施
- デバイスの初期投資等の事業リスクが当初想定を大幅に上回る見込みとなり、経営リスクに鑑み、2025年11月30日をもって事業化の検証終了を決定



- 主幹事として8作品を製作（製作中を含む）
- 製作委員会各社と連携し、国内外で放送・配信
- 伊藤忠グループとの連携を強化し、グッズ等のIP展開を加速

アニメコンテンツの海外売上の政府目標

政府目標では2028年に3.1兆円
2033年に6.2兆円まで拡大見込み



出典：株日本総合研究所「JRIレビュー」2025年 Vol.4, No.122「わが国のアニメ産業における供給面の課題」を参考に当社にて作成 (<https://www.jri.co.jp/report/jrireview/detail/15608/>)

2026年1月放送開始「魔術師クノンは見えている」および放送済3作品



チ。—地球の運動について—

来世は他人がいい

©魚豊／小学館／チ。—地球の運動について—製作委員会

©小西明日翔・講談社／来世は他人がいい製作委員会

フェルマーの料理

魔術師クノンは見えている

©小林有吾・講談社／フェルマーの料理製作委員会

©南野海風・Laruha/KADOKAWA／「魔術師クノンは見えている」製作委員会

未知の大陸、生物、物質。
進化の歴史とは、未知との遭遇の歴史だ。
未知へひとたび飛びこめば、
想像をこえた景色が広がっている。
好奇心にあふれた仲間が集まる。
努力を、努力と忘れてしまう場所。
私たちが魅入られた未知は、宇宙。
誰かを笑顔にする、誰かの安全を守る、
新たな価値を見出してきた。
そしてまだ1%も探れていない。
残りの99%、
この地上から宇宙へ広がる空間で、
世界が驚くビジネスを。
見たこともないエンターテインメントを。
人工衛星たちと共に。

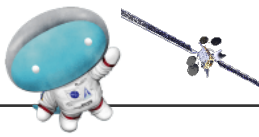
未知を、 価値に。

宇宙実業社
スカパーJSAT



参考資料

各事業の内容については
「スカパー」SATガイドをご覧ください



- 当社経営陣による国内外投資家の皆様との対話機会を拡充
- 投資家様からのご要望に応え、宇宙事業の説明機会を新たに企画
- 社長・CFOによる個人投資家様向け会社説明会を実施（7月・9月）

【フィードバック体制】

アナリスト・投資家・株主

社長・CFO、広報IR部

取締役会
年4回 IR活動報告

企業価値向上に向けた対応

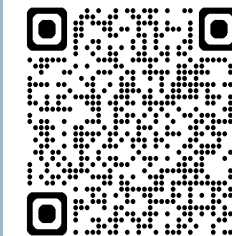
FY2022	FY2023	FY2024	FY2025（4月～9月）
個別面談 112件	個別面談 188件	個別面談 230件	個別面談 156件 └代表取締役社長対応：8件 └CFO対応：9件 【IR施策】 海外ロードショー 1回（欧州） 海外投資家向け証券会社カンファレンス 1回 証券会社主催スモールMTG 4回

プレゼンス向上の取り組み



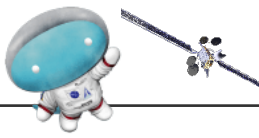
日経・東証IRフェ
ア2025
(2025/9/26・27)

個人投資家様向けに
説明を行う米倉

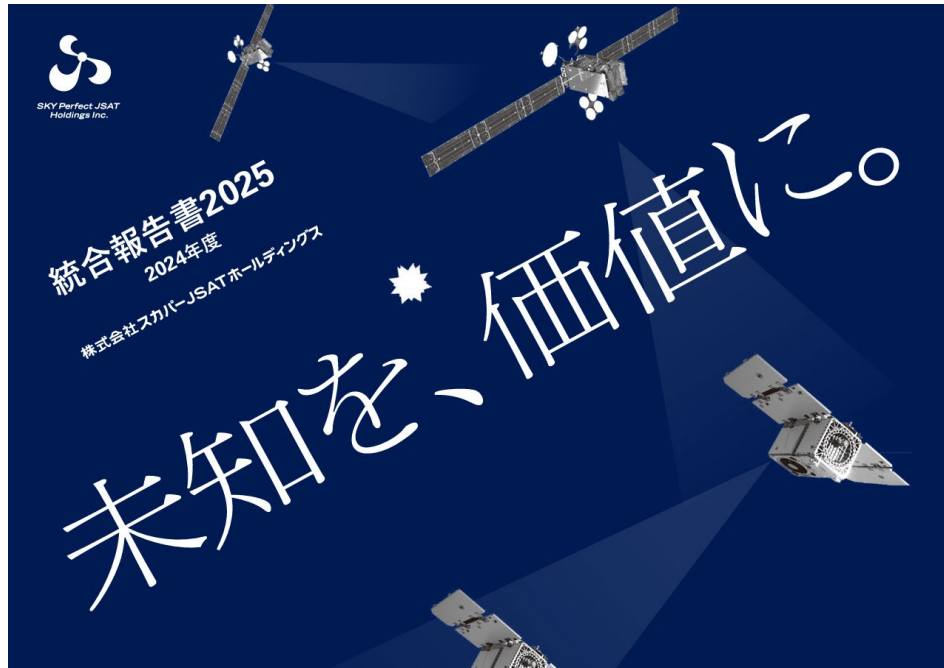


IRイベント資料

上記掲載のIRイベント資料
はHPに掲載しておりますの
で是非ご覧ください



- 社長、CFOの肉声が伝わるメッセージ、市場環境等の情報を強化
- 投資家様からの声を受け、資本コストへの言及、従業員持ち株会加入率等を掲載

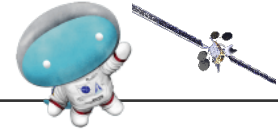


掲載場所：https://www.skyperfectjsat.space/ir/library/jsat_report/
ホーム>株主・投資家情報>IRライブラリ>統合報告書

※オンライン版も追って公開

テーマ：
宇宙事業「Multi-Orbit」戦略と
メディア事業「Multi-Alliance」戦略で成長

- 特集：宇宙ソリューションプロバイダーを目指して
- 成長市場
 - ・ 地球観測市場、宇宙関連防衛費
 - ・ アニメコンテンツ産業
- 取締役・社外監査役鼎談
 - ・ 低軌道地球観測衛星コンステレーション構築
 - ・ リスクマネジメント

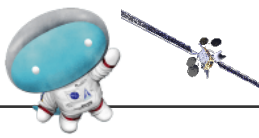


収益基盤の強化と事業の進化の取り組みを通じて増収増益を目指す

(億円)	2024年度 実績	2025年度 予想	増減率
営業収益	1,237	1,276	+3.1%
営業利益	275	308	+12.0%
経常利益	273	315	+15.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	191	210	+9.9%
EBITDA *	474	480	+1.3%

* EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却額 + 支払利息。

2025年度 セグメント別業績予想



宇宙事業

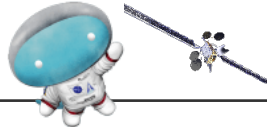
放送トラポン収入の減収等を移動体向け通信サービスの拡大等でカバーし、増収増益を目指す

メディア事業

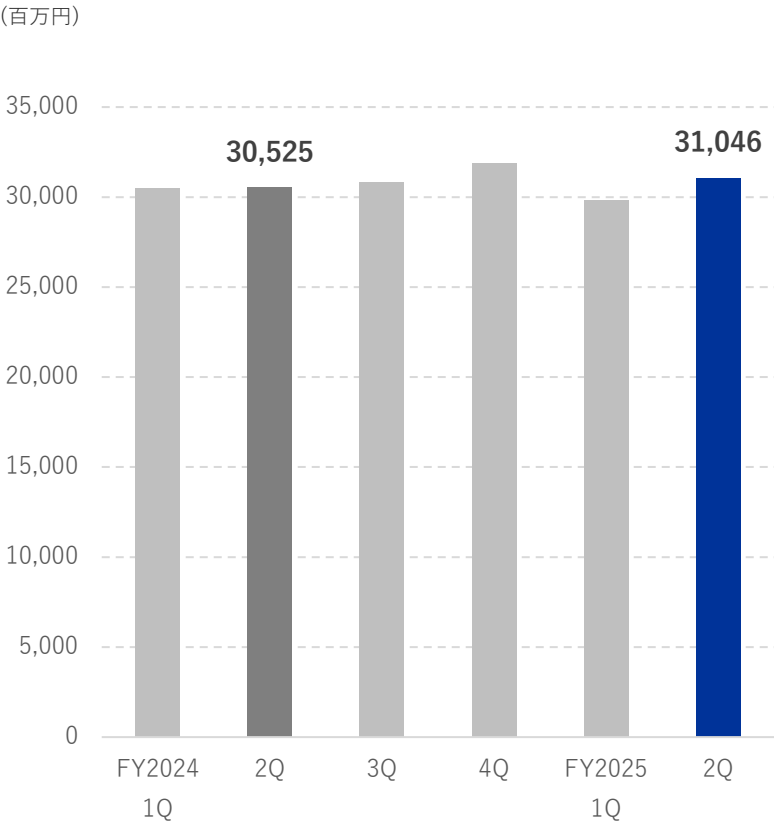
主力商品への注力により放送事業収入の減少を抑え、スカパー東京メディアセンターを含むコスト構造の改革を断行、光アライアンス事業の拡大にて増益を目指す

(億円)	2025年度セグメント別業績予想			
	宇宙事業	メディア事業	消去または 全社	連結合計
営業収益	700 (+53)	641 (△14)	△65 (△0)	1,276 (+39)
営業利益	233 (+13)	82 (+19)	△7 (+1)	308 (+33)
セグメント利益	160 (+8)	60 (+16)	△10 (△5)	210 (+19)
* 純利益ベース				

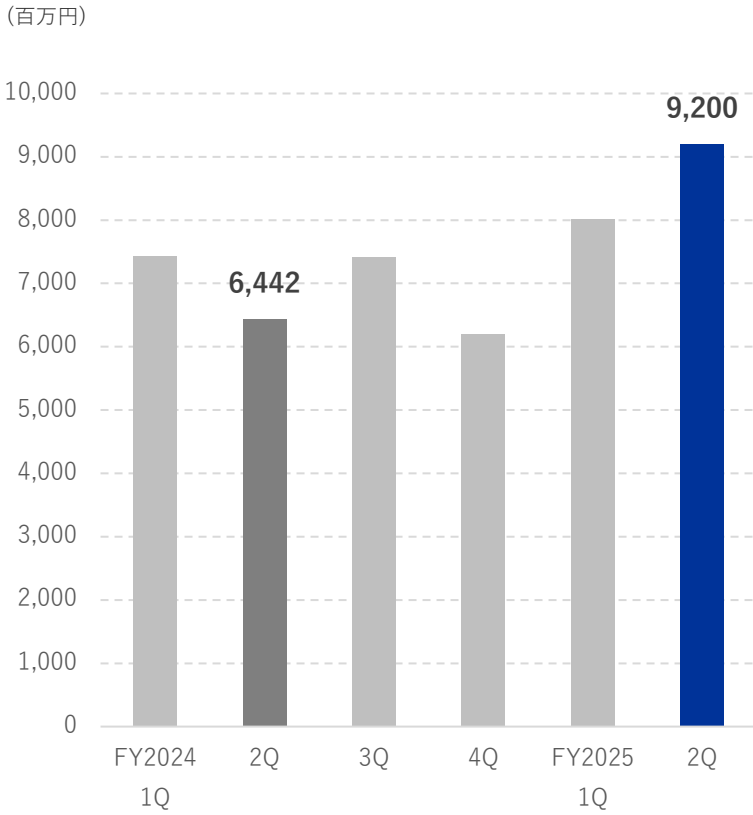
注：()内は対前年度比増減。



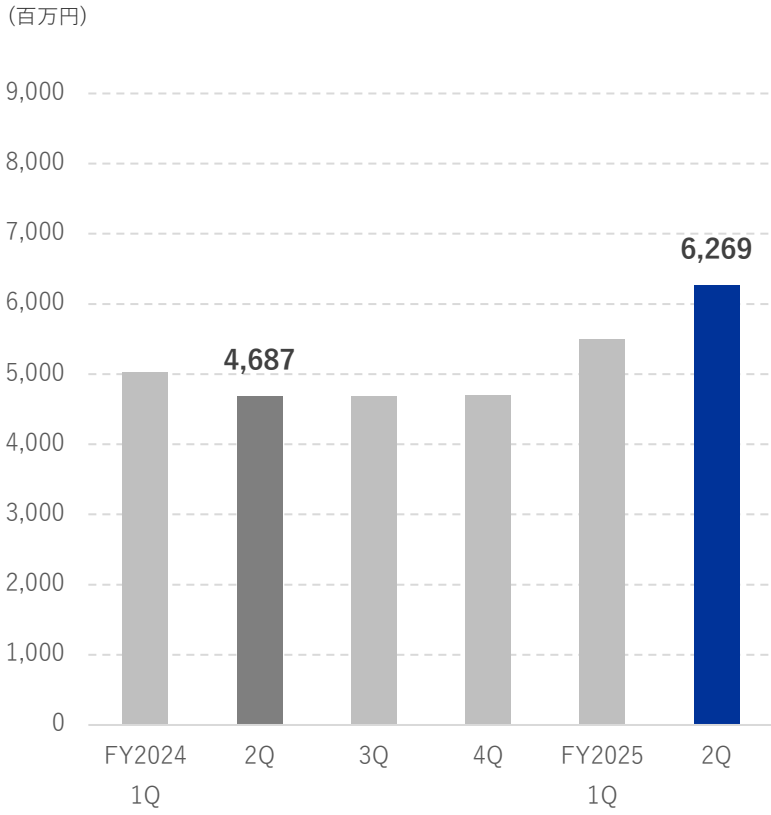
営業収益



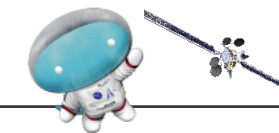
営業利益



連結純利益



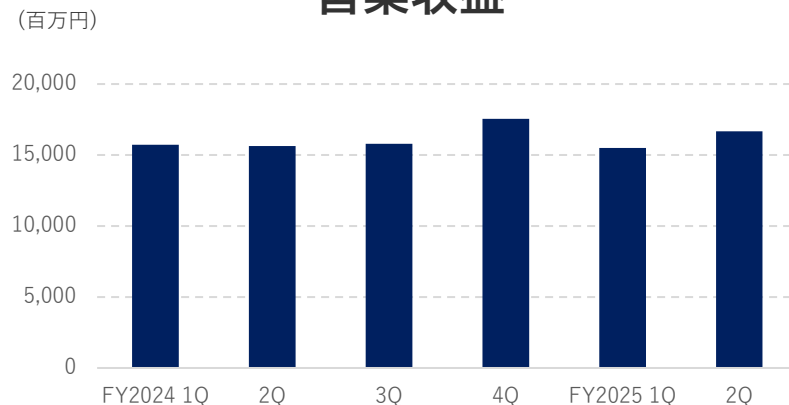
セグメント別四半期業績 (FY2024 1Q - FY2025 2Q)



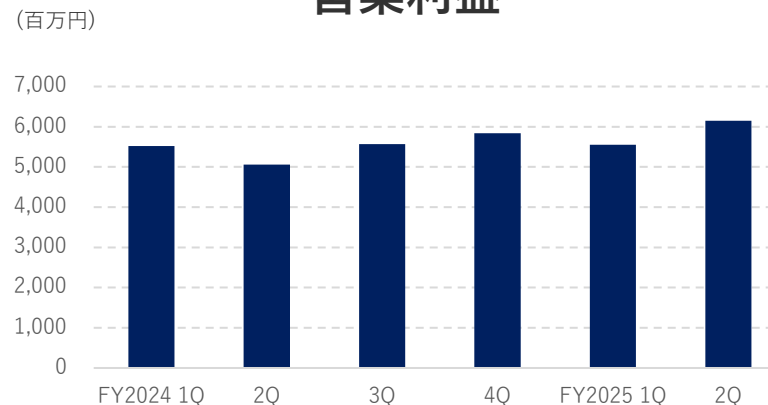
宇宙事業

* 各数値はセグメント間の内部取引を含む。

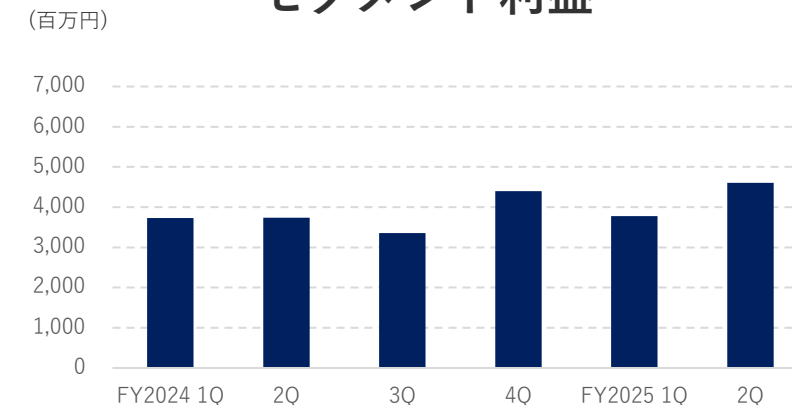
営業収益*



営業利益

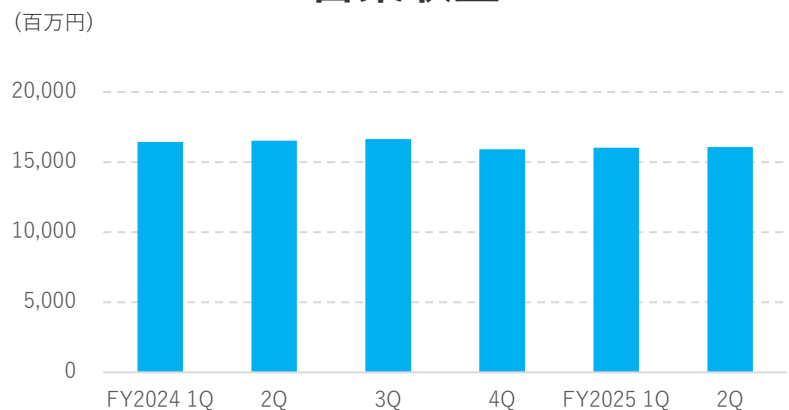


セグメント利益

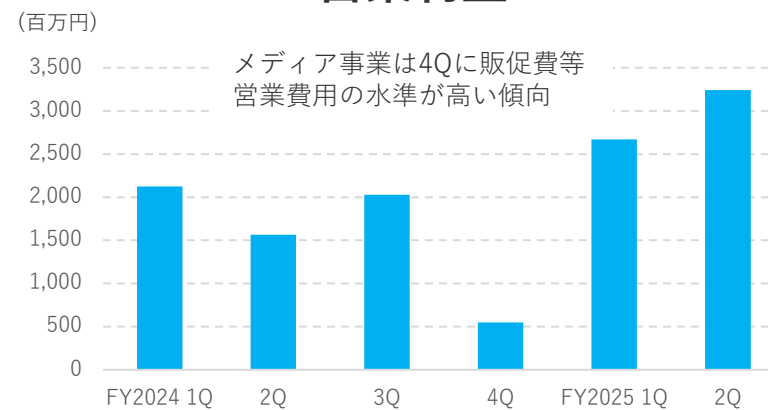


メディア事業

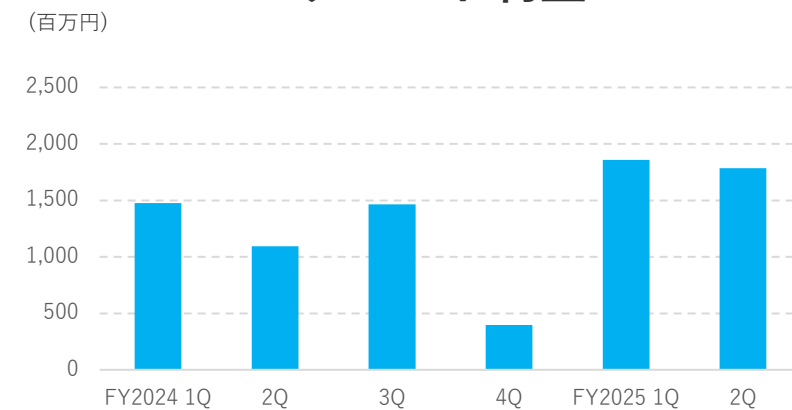
営業収益*



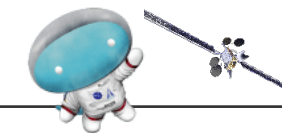
営業利益



セグメント利益

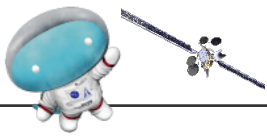


セグメント別四半期業績 (FY2024 1Q - FY2025 2Q)



(百万円)	FY2024					FY2025	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
営業収益	30,490	30,525	30,844	31,861	123,721	29,825	31,046
宇宙事業	15,725	15,639	15,795	17,540	64,701	15,507	16,660
メディア事業	16,431	16,524	16,653	15,904	65,514	16,020	16,078
消去又は全社	△1,666	△1,639	△1,605	△1,583	△6,494	△1,702	△1,692
営業利益	7,433	6,442	7,409	6,202	27,488	8,009	9,200
宇宙事業	5,516	5,057	5,569	5,835	21,978	5,548	6,148
メディア事業	2,124	1,564	2,029	548	6,265	2,670	3,240
消去又は全社	△207	△179	△188	△180	△755	△209	△188
セグメント利益 (親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益)	5,028	4,687	4,688	4,701	19,106	5,500	6,269
宇宙事業	3,728	3,736	3,352	4,399	15,218	3,775	4,604
メディア事業	1,475	1,093	1,466	398	4,433	1,858	1,785
消去又は全社	△175	△142	△129	△97	△545	△133	△120

セグメント別前年同期比較

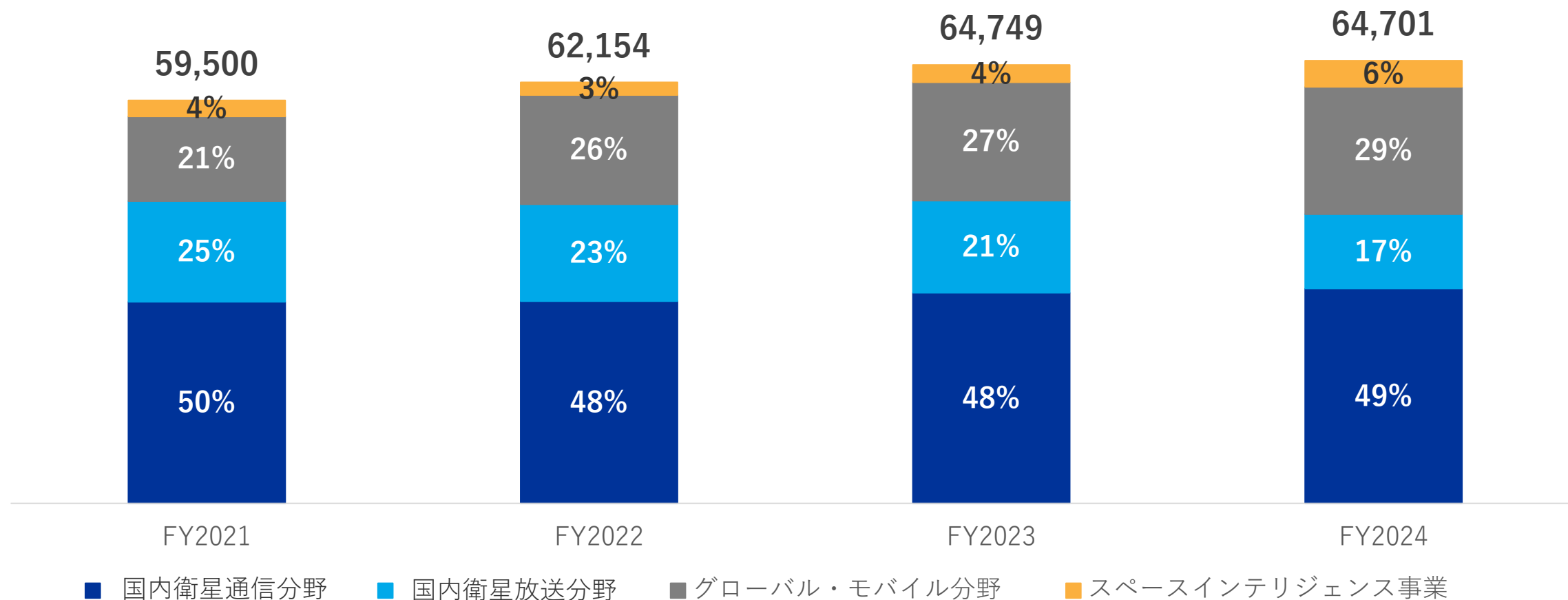


(億円)		FY2025 2Q (前年同期比)	FY2025 2Q累計 (前年同期比)	主な増減要因	2Q	2Q累計
宇宙事業	営業収益*	167 (+10)	322 (+8)	国内衛星通信分野	+8	+13
				放送トラポン収入	(0)	(1)
				グローバル・モバイル分野	+2	(2)
				スペースインテリジェンス分野	+1	(1)
	営業費用	105 (△1)	205 (△3)	国内売上増に伴う仕入等	+5	+8
				減価償却費	(6)	(12)
				Orbital Lasers費用	+2	+2
	営業利益*	61 (+11)	117 (+11)			
	セグメント利益**	46 (+9)	84 (+9)			
メディア事業	営業収益*	161 (△4)	321 (△9)	視聴料・業務手数料・基本料収入	(6)	(12)
				FTTH収入	+1	+2
	営業費用	128 (△21)	262 (△31)	広告宣伝・販促関連費	(10)	(14)
				減価償却費	(5)	(9)
				カスタマーセンター子会社の持分法適用会社化 ((株) スカパー・カスタマーリレーションズ)	(2)	(5)
	営業利益*	32 (+17)	59 (+22)			
	セグメント利益**	18 (+7)	36 (+11)	コネクテッドTV事業化検証終了に伴う減損	(8)	(8)

*セグメント間の内部取引を含む

**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

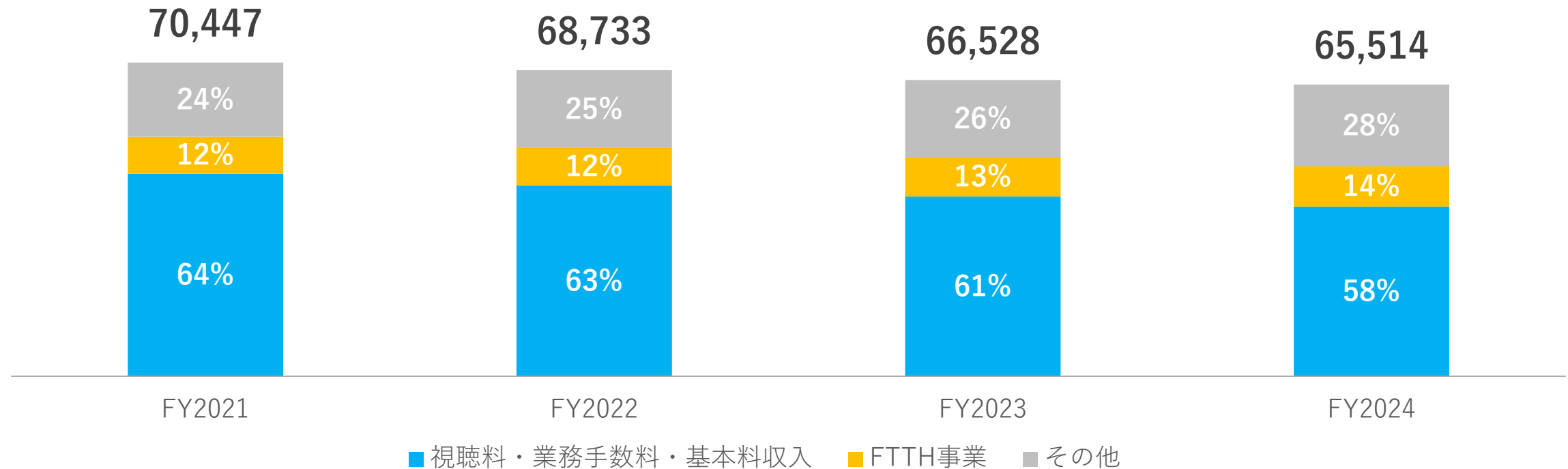
(百万円)



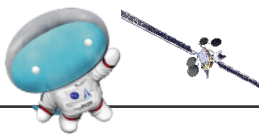
*2021年度の構成比は、画像販売収入の一部を国内からスペースインテリジェンス事業に組み替えて再計算

*2024年度より「新規事業領域」の名称を「スペースインテリジェンス事業」に変更

(百万円)



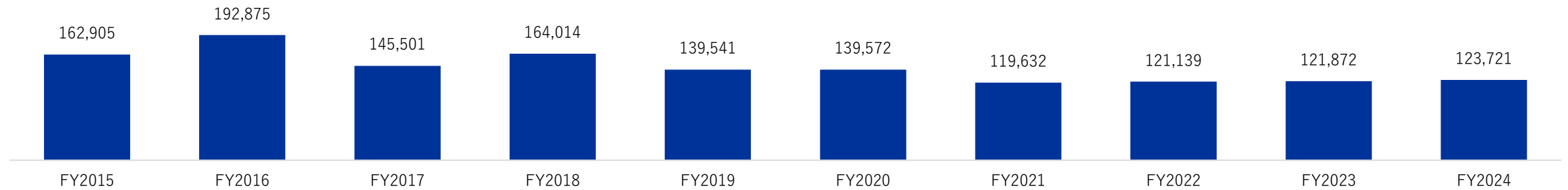
10年連結業績データ (FY2015 - FY2024)



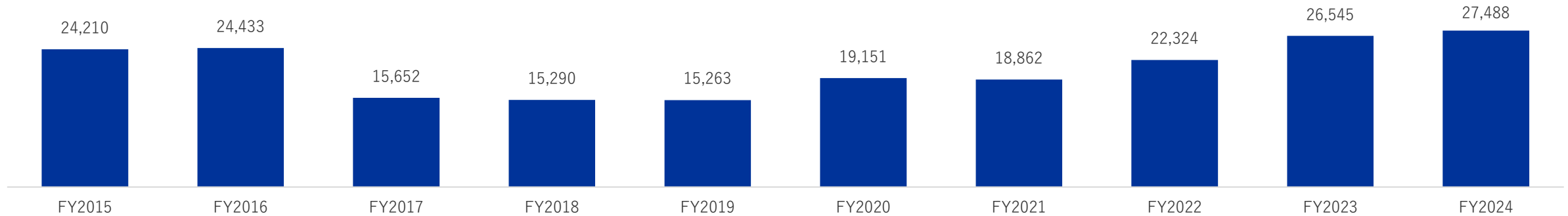
営業収益*

* 2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用

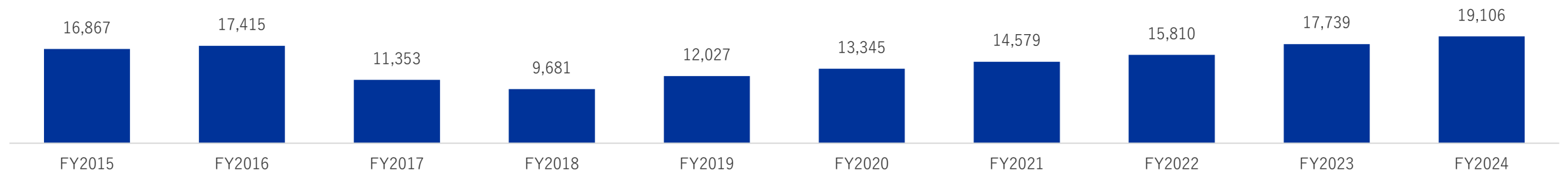
(百万円)



営業利益

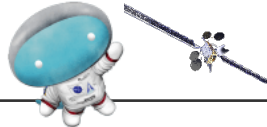


親会社株主に帰属する当期純利益



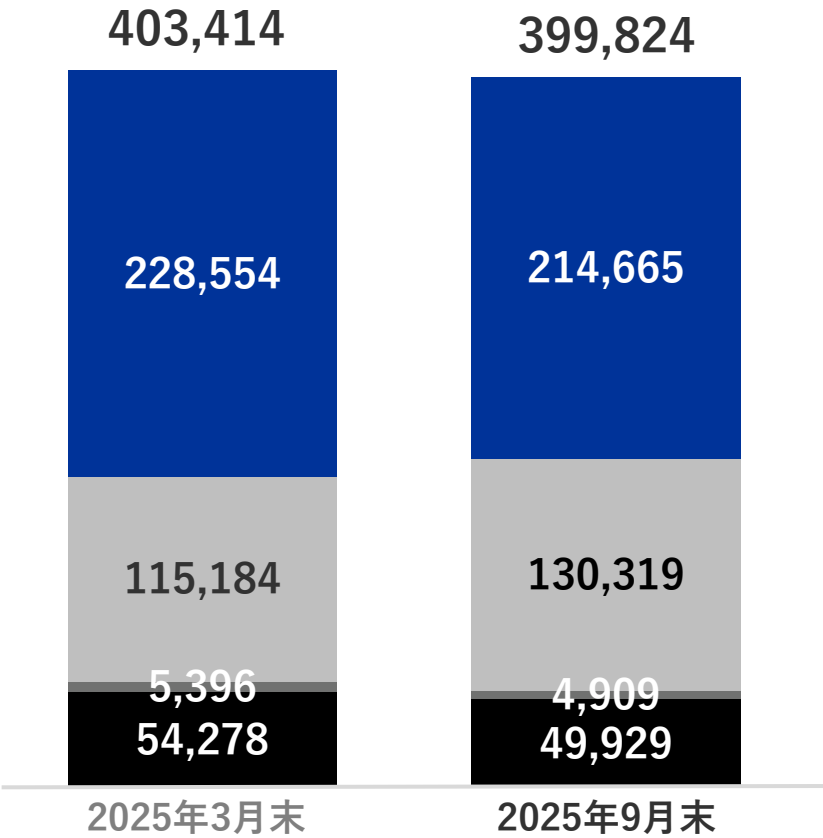
2016年度及び2018年度に防衛省向け通信衛星売却の影響を含む

連結貸借対照表



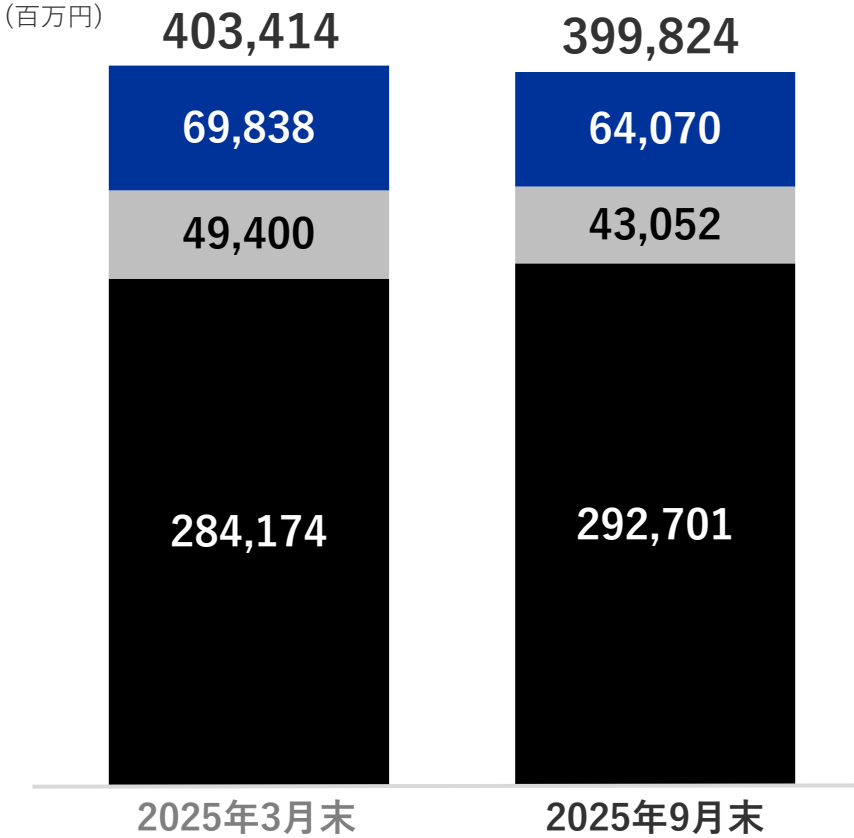
資 産

(百万円)

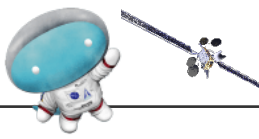


負債・純資産

自己資本比率： 69.8% ➡ 72.5%



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産 流動負債 固定負債 純資産

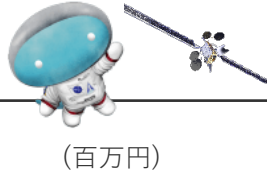


(百万円)

	2024年度 2Q累計	2025年度 2Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,949	28,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,546	△40,067
フリー・キャッシュフロー (*1)	8,403	△11,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,995	△20,360
現金及び現金同等物の期末残高(a)	115,080	81,069
有利子負債期末残高 (*2) (b)	60,506	39,189
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△54,574	△41,880

*1 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

*2 借入金＋無担保社債



		SJC	SPET	JII	JMC
事業内容		放送プラットフォーム、 衛星通信	衛星基幹放送業務、 衛星一般放送業務等	北米・アジア太平洋での 衛星回線販売事業	移動体衛星通信サービス事業
保有割合（%）		100.0	100.0	100.0	53.3
営業収益	FY2024 2Q累計	55,619	6,151	3,638	2,901
	FY2025 2Q累計	56,238	5,692	3,441	2,948
営業利益	FY2024 2Q累計	11,752	642	1,190	561
	FY2025 2Q累計	15,685	635	1,185	412
経常利益	FY2024 2Q累計	12,717	766	1,033	522
	FY2025 2Q累計	17,020	639	1,752	399

SJC：スカパーJSAT株式会社

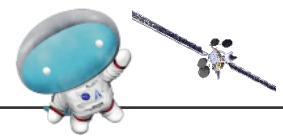
SPET：株式会社スカパー・エンターテイメント

JII：JSAT International Inc.

JMC：JSAT MOBILE Communications株式会社

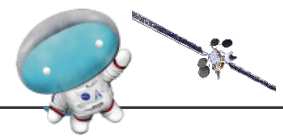
* 2025年6月27日に株式会社スカパー・ブロードキャスティングの臨時株主総会にて解散を決議済み

* 連結子会社であった株式会社スカパー・カスタマーリレーションズの株式を 2025年1月1日付で一部売却し、持分法適用会社化



(億円)

	2025年度 2Q累計	2025年度 見込
① 設備投資	230	550
内訳： 宇宙事業	216	500
メディア事業	14	50
その他	0	0
② 事業投資	4	150
① + ② 投資合計	234	700



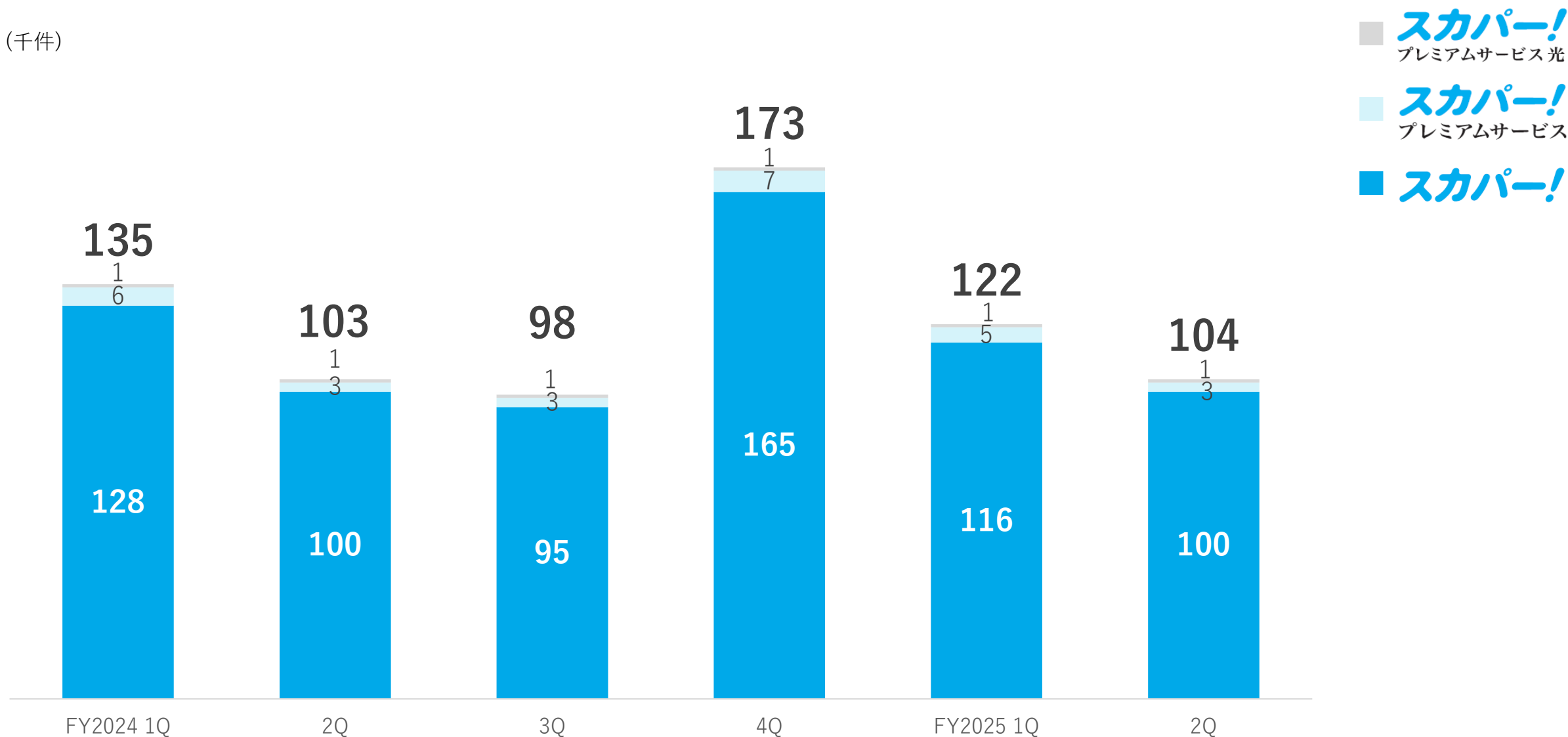
(億円)

	2025年度 2Q累計	2025年度 見込
減価償却費	76	155
内訳： 宇宙事業	54	112
メディア事業	21	43
その他	1	0

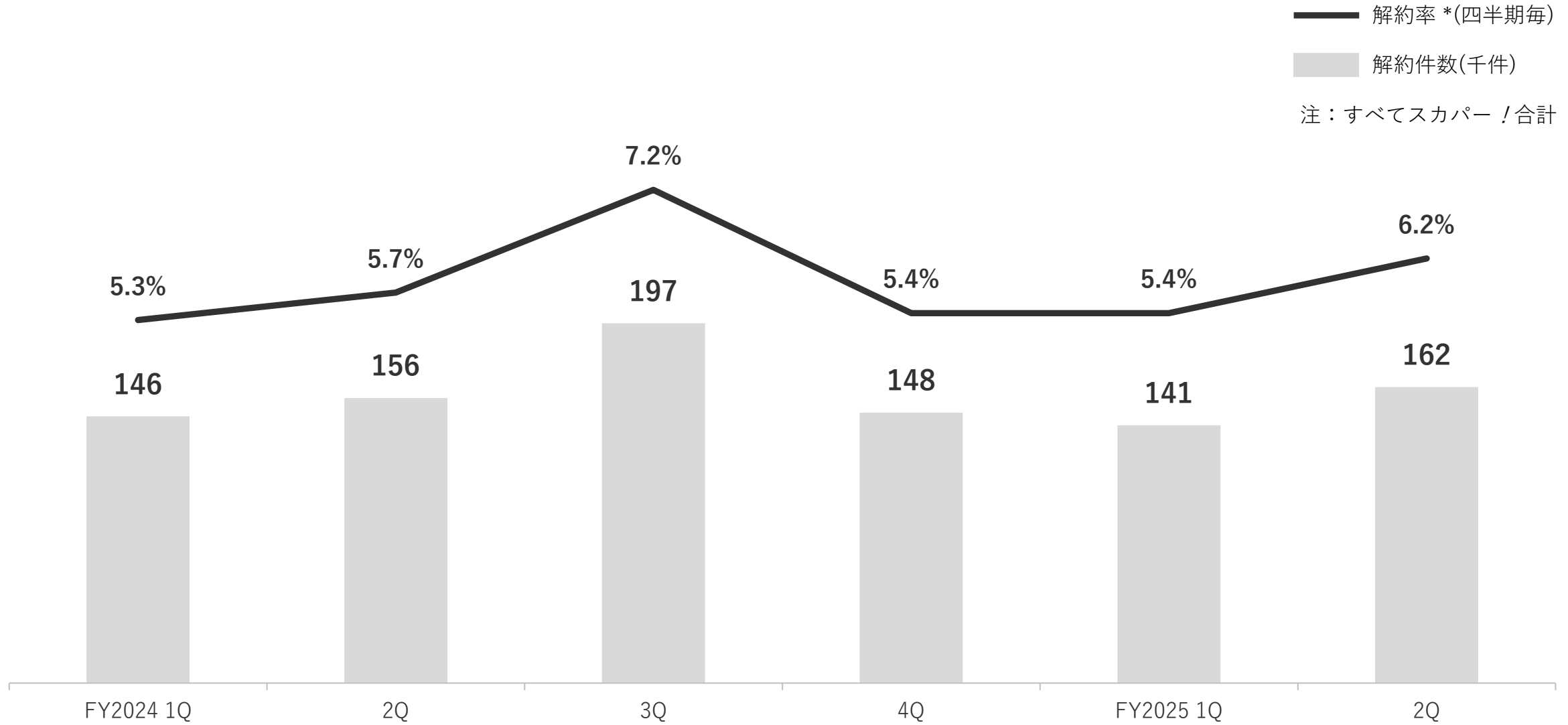
	2024年度 2Q累計	2025年度 2Q累計	2025年度 加入目標
新規（IC数：万件）	23.8	22.6	48.9
純増数（IC数：万件）	△6.4	△7.8	△12.9
（スカパー！）	(△3.6)	(△5.2)	(△7.2)
（スカパー！プレミアムサービス）	(△2.8)	(△2.4)	(△5.3)
（スカパー！プレミアムサービス光）	(△0.2)	(△0.1)	(△0.4)
累計加入件数（IC数：万件）	267.6	252.4	247.3
累計契約者数（契約者数：万件）	207.5	194.0	188.7
光再送信サービス接続世帯数（万件）	280.2	291.7	295.5
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,402	3,437	-
スカパー！プレミアムサービス	3,537	3,531	
スカパー！プレミアムサービス光	4,968	4,911	

新規加入件数の推移（IC数）

(千件)



解約率の推移（IC数）



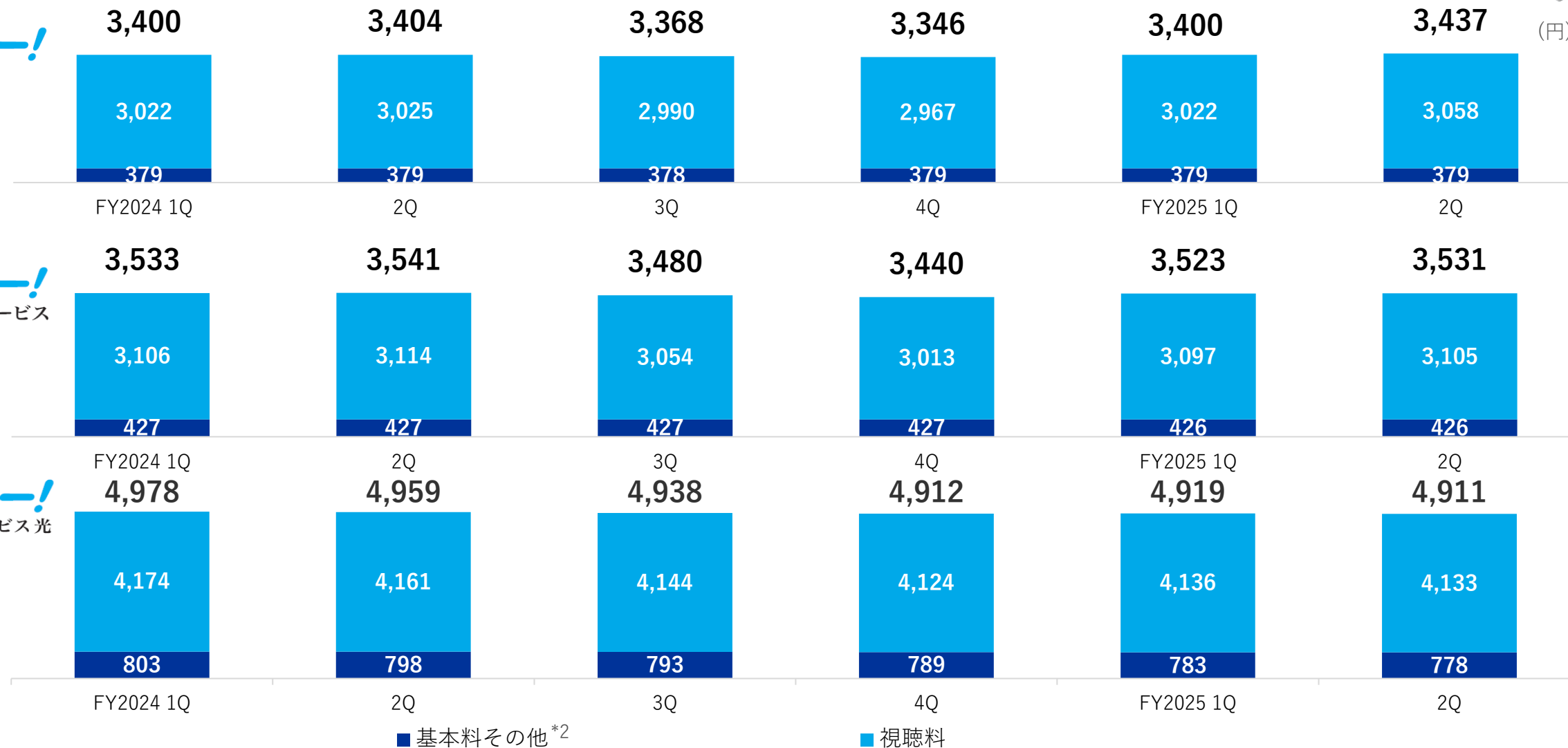
* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

契約者支払単価^{*1}

スカパー！

スカパー！
プレミアムサービス

スカパー！
プレミアムサービス 光



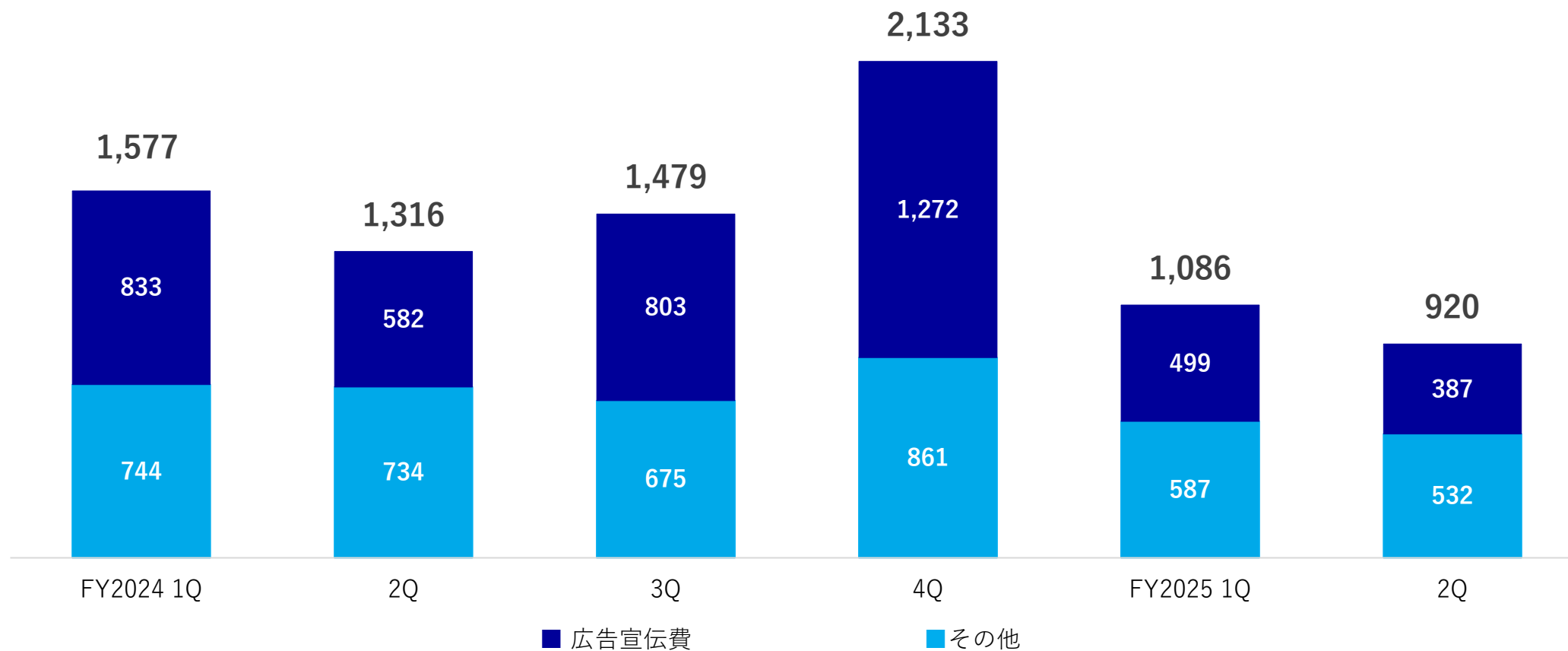
*1 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しております。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー！では約30%を業務手数料、スカパー！プレミアムサービス、およびスカパー！プレミアムサービス光では、番組供給料を控除した約50%を視聴料収入として収益認識しております。

*2 基本料及びセットトップボックスレンタル料

顧客獲得費用総額（SAC）

（百万円）



■ 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用

■ その他：スカパー！加入促進のための費用（パンフレットや会場販促、アンテナサポートキャンペーン等）、販売インセンティブ、カスタマーセンター運営費用

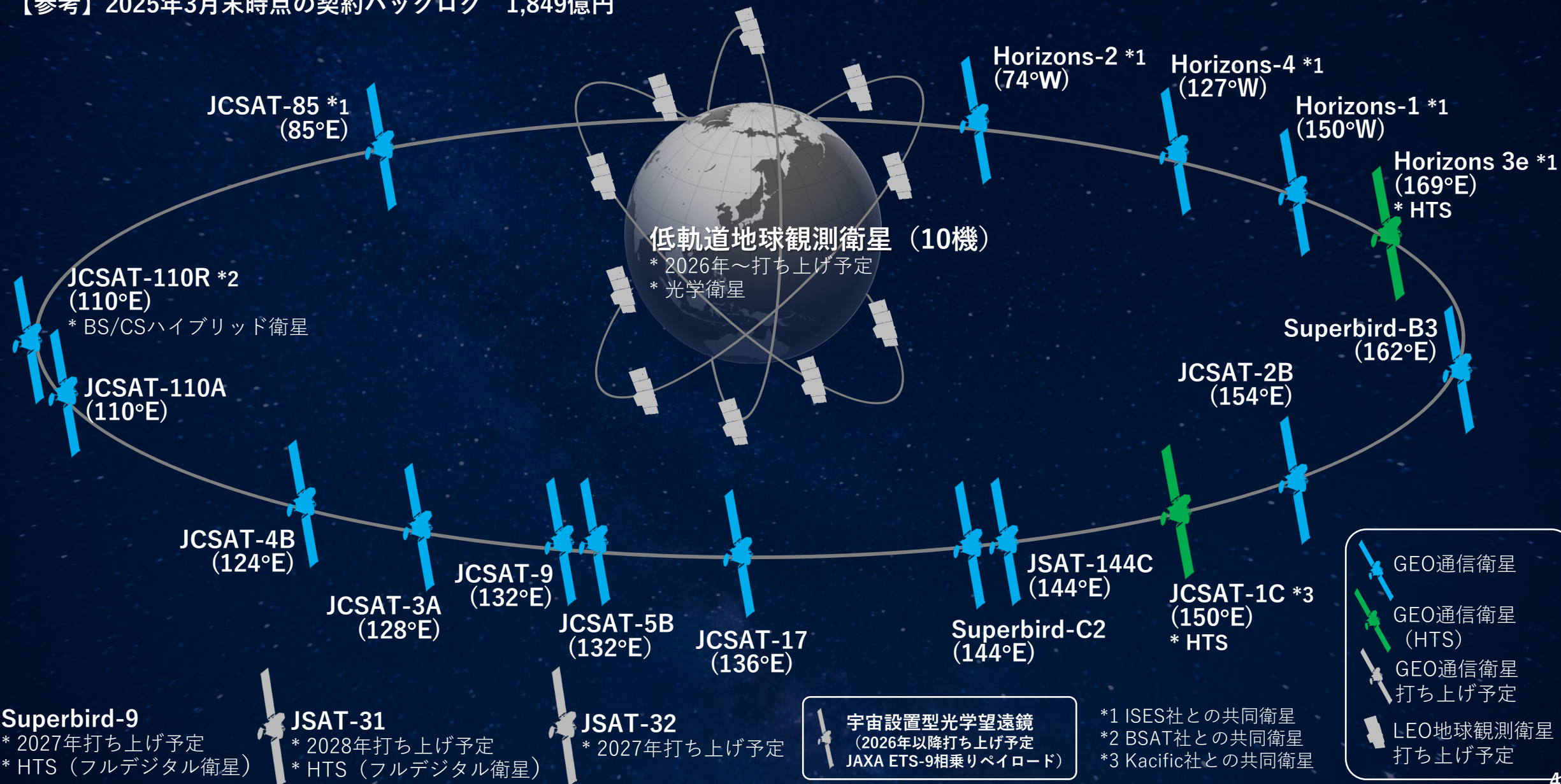
* 2026年3月期第1四半期より、集計方法を変更しており、2025年3月期の各数値についても再集計しています。この結果、2025年3月期におけるSAC総額の通期実績は、集計方法の変更前と比較して37百万円減少しています。

衛星フリート

(2025年10月末時点)

北米上空からインド洋上空まで 計17機 のGEO通信衛星を保有

【参考】 2025年3月末時点の契約バックログ 1,849億円



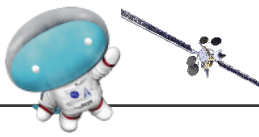
保有衛星：静止軌道衛星（GEO）17機

(2025年10月末時点)

衛星		軌道位置	衛星バス	打ち上げ年月日（JST）	打ち上げロケット	主要なカバーエリア・搭載ビーム	主な利用用途
Horizons-1	*1	西経150度	Boeing 601HP	2003年10月1日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: 北太平洋、北米	通信
JCSAT-9		東経132度	Lockheed A2100AX	2006年4月13日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: ー C: ー	通信
JCSAT-3A		東経128度	Lockheed A2100AX	2006年8月12日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、アジア C: アジア、ハワイ、ロシア	通信/放送
Horizons-2	*1	西経74度	Orbital STAR2	2007年12月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 北米	通信
Superbird-C2		東経144度	MELCO DS2000	2008年8月15日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、アジア、可動ビーム	通信
JCSAT-5B		東経132度	Lockheed A2100AX	2009年8月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本 C: アジア、ハワイ、ロシア東部	通信
JCSAT-85	*1	東経85度	Orbital STAR2	2009年12月1日	Zenit-3SL（Sea Launch）	Ku: West IOR, East IOR	通信
JCSAT-110R	*2	東経110度	Lockheed A2100AX	2011年8月7日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本	放送
JCSAT-4B		東経124度	Lockheed A2100AX	2012年5月16日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、東南アジア、2つの可動ビーム	通信/放送
JCSAT-2B		東経154度	SSL1300	2016年5月6日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 日本、アジア、パシフィック C: ロシア、アジア、オセアニア、グローバル	通信
JSAT-144C		東経144度	SSL1300	2016年8月14日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 日本	通信
JCSAT-110A		東経110度	SSL1300	2016年12月22日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、インド洋、オセアニア	放送
Superbird-B3		東経162度	MELCO DS2000	2018年4月6日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: 日本、可動ビーム	通信
Horizons 3e	(HTS) *1	東経169度	Boeing 702MP	2018年9月26日	Ariane 5（Arianespace）	Ku: アジア、パシフィック C: ゲートウェイビーム	通信
JCSAT-1C	(HTS) *3	東経150度	Boeing 702MP	2019年12月17日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: アジア、パシフィック、ロシア、HTS Ka: HTS Gateway	通信
JCSAT-17		東経136度	LM2100	2020年2月19日	Ariane 5（Arianespace）		通信
Horizons-4	*1	西経127度	Maxar 1300	2023年8月3日	Falcon 9（SpaceX）	Ku: 北米、太平洋	通信

*1 SES社との共同衛星／*2 BSAT社との共同衛星／*3 Kacific社との共同衛星

直近の主なニュースリリース



日付	タイトル（クリックで該当リリースにリンク）
2025年11月4日	<u>スカパーＪＳＡＴ、通信衛星「Superbird-C2」のKuバンド全容量をSESへ提供 ―日本上空での機内Wi-Fiサービスの通信需要に対応―</u>
2025年11月4日	<u>スカパーＪＳＡＴ、防衛省向け 地球観測衛星(光学)データ提供業務を約90億円で受注</u>
2025年10月30日	<u>スカパーＪＳＡＴ、Green Carbonへの資本業務提携を決定 ～衛星データの活用によるカーボンクレジット信頼性向上に寄与～</u>
2025年10月29日	<u>スカパーＪＳＡＴとKT SAT、静止軌道における 5G NTN技術に関する共同研究開発の覚書を締結</u>
2025年10月29日	<u>スカパーＪＳＡＴ 近地球追跡ネットワークサービス「JSAT Space Line」の提供を開始 ―グローバル連携による民間衛星の追跡支援業務を促進―</u>
2025年10月24日	<u>スカパーＪＳＡＴとFrontier Innovations、宇宙スタートアップエコシステムの共創に関する協定を締結</u>
2025年10月02日	<u>2025年9月末現在 加入件数について</u>
2025年10月02日	<u>衛星×5Gネットワークにおける 柔軟な経路選択・品質制御等を活用した実証実験に成功 ～宇宙と地上を結ぶ柔軟なネットワークで、つながる社会を目指す～</u>
2025年09月08日	<u>スカパーＪＳＡＴ「東南アジア教育支援プロジェクト」 日本ユネスコ協会連盟の国内事業「U-Smileプログラム」との連携を通じて、地域共生・次世代教育を推進</u>
2025年09月02日	<u>2025年8月末現在 加入件数について</u>
2025年08月27日	<u>INTMAX・ぷらっとホーム・スカパーＪＳＡＴ 国内データセンターにおけるINTMAXブロックチェーン実証を開始 新しいプライバシー保護技術（ゼロ知識証明等）・IoTトークン化・データセンターを融合した 次世代分散型インフラの実現へ</u>
2025年08月20日	<u>スカパーＪＳＡＴ、JAXA宇宙戦略基金の「衛星量子暗号通信技術の開発・実証」へ参画 衛星管制システムの設計検討などを担当</u>

Space for your Smile

不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smile には、私たちの目指す世界が描かれています。

宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、

これらすべての Space が笑顔で満たされるように。

日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、

ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーＪＳＡＴホールディングス

広報IR部



TEL : 03-5571-1515、FAX : 03-5571-1760

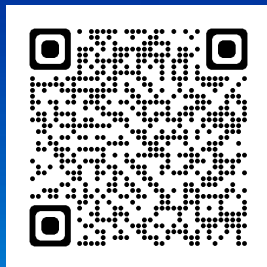
E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp

メール配信サービスはこちらよりご登録ください

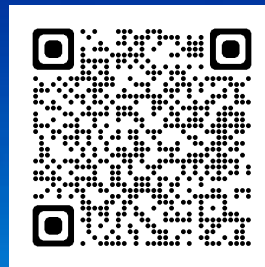
<https://www.skyperfectjsat.space/ir/mail/>

IR、企業広報に関するプレスリリース及びイベント等を電子メールでお届けします

X



LinkedIn



YouTube

